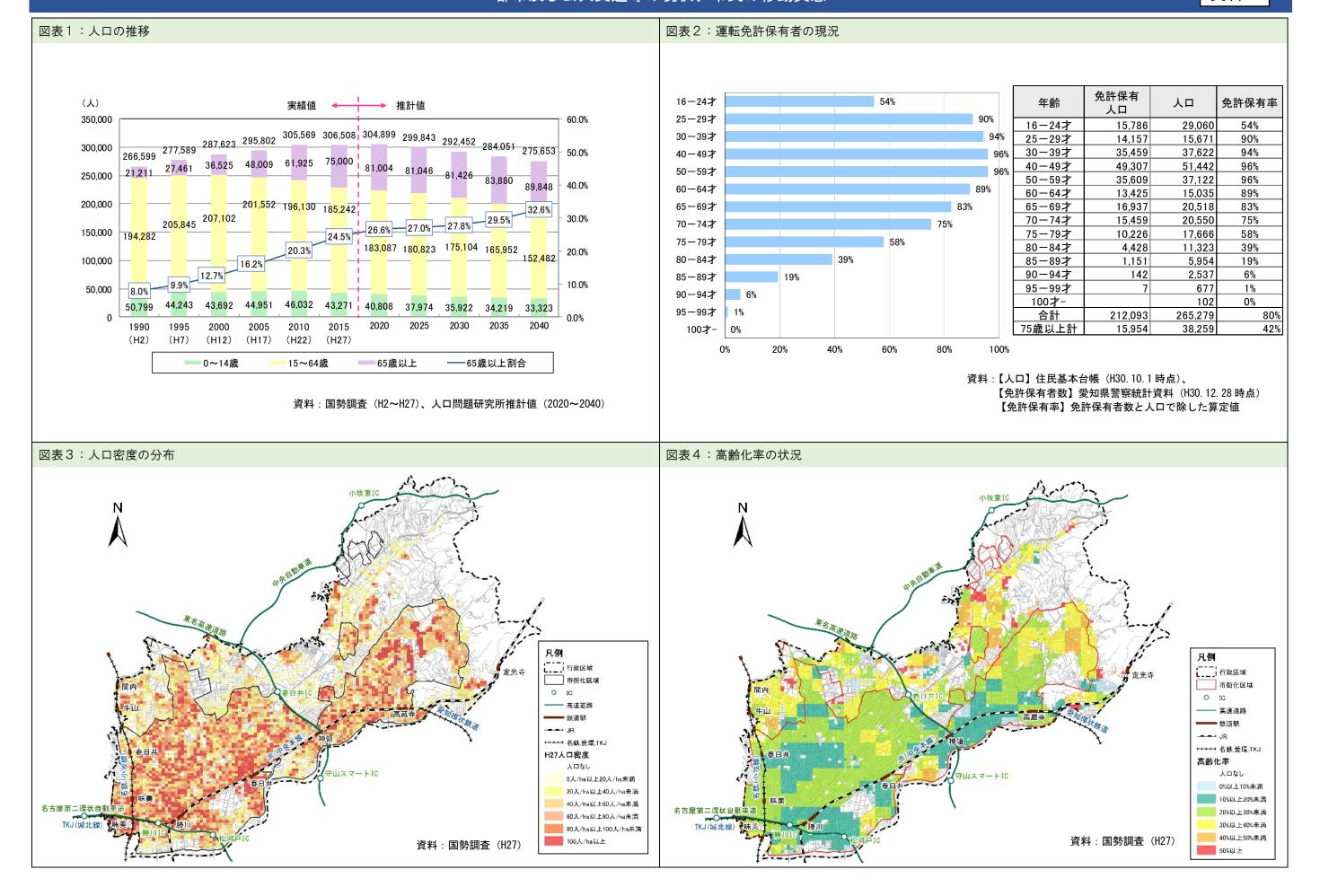
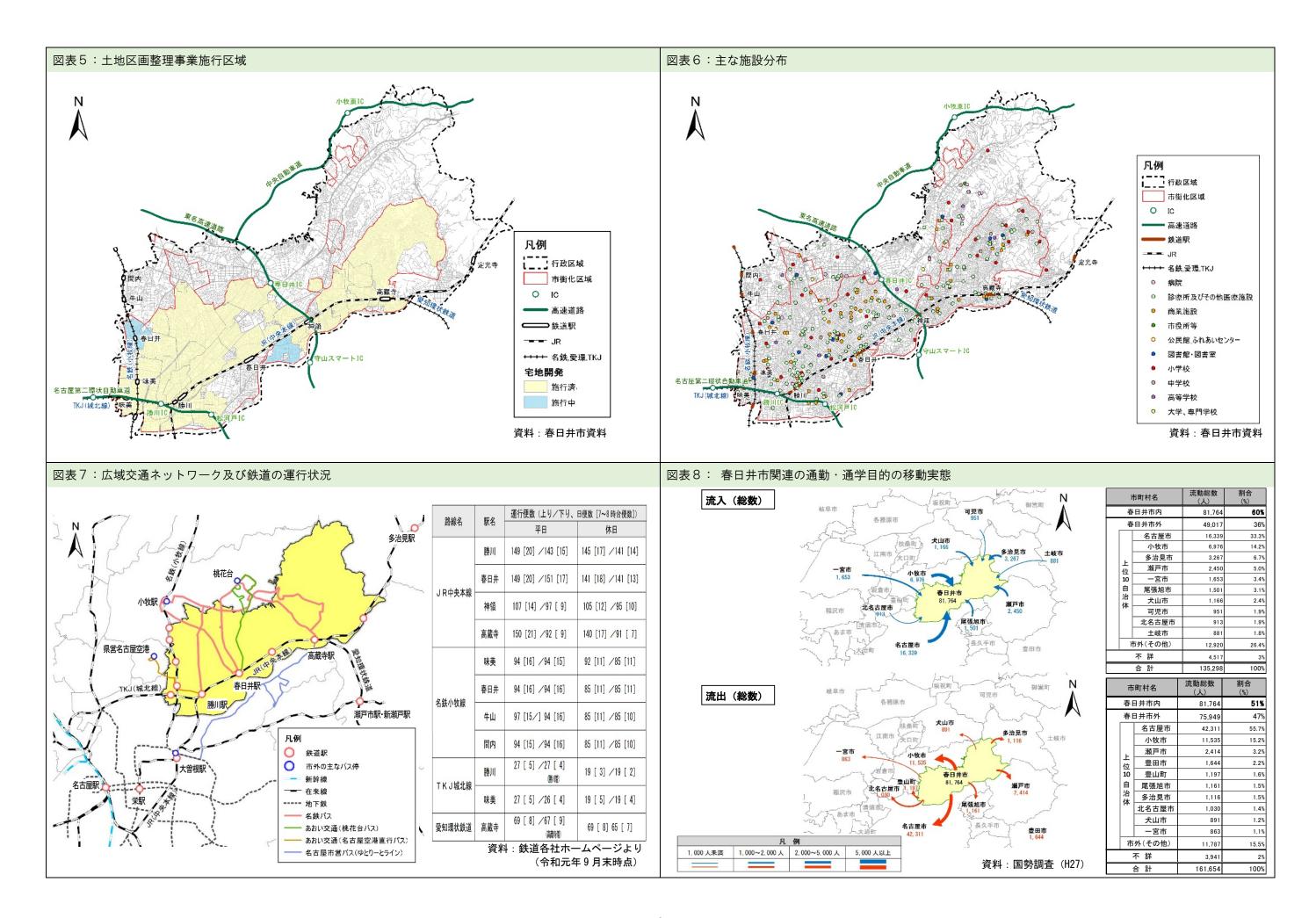
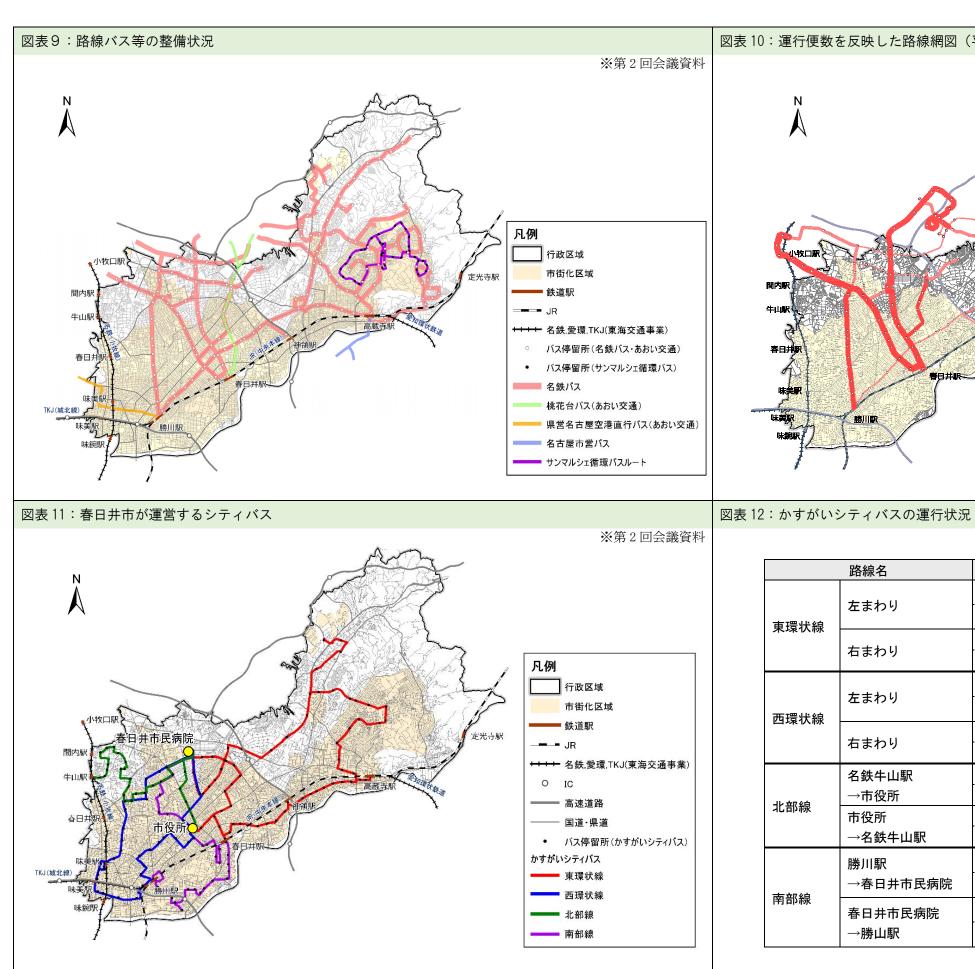
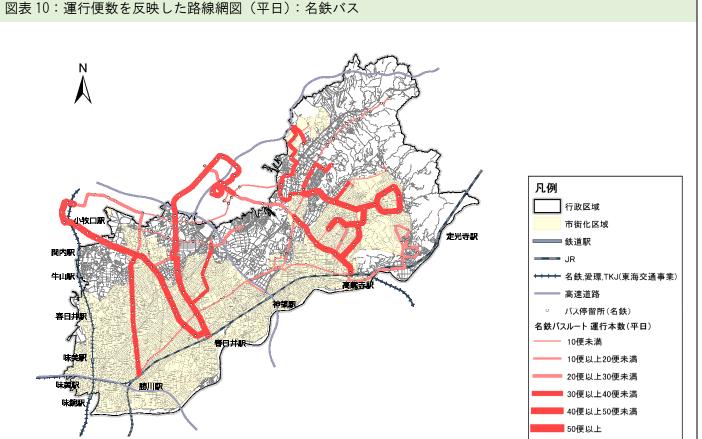
都市及び公共交通等の現状、市民の移動実態

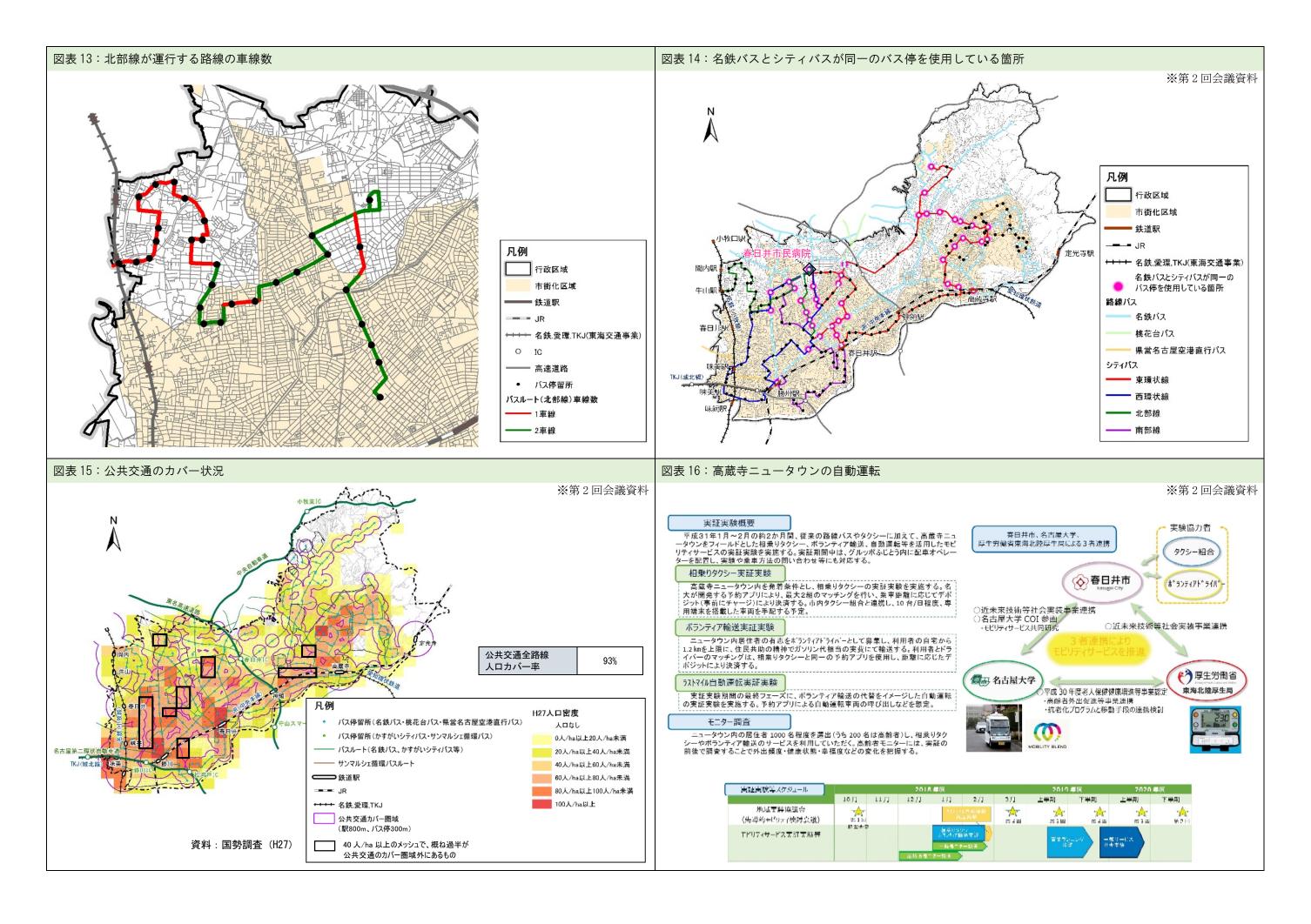








路線名 運行時間帯 運行便数 所要時間 運行キロ 6:55- 18:33 平日 9 左まわり 2:20 8:05- 17:22 休日 8 東環状線 各約 39 km 6:57- 18:39 平日 10 右まわり 2:19 休日 8:18- 17:32 8 7:00- 17:45 平日 7 左まわり 1 : 28 休日 8:39- 16:51 6 西環状線 各約 19 km 7:10- 17:42 平日 6 右まわり 1:30 8:08- 16:57 休日 6 7:30- 16:52 名鉄牛山駅 平日 5 0:48 休日 →市役所 9:40- 16:52 4 北部線 各約 13 km 平日 8:40- 17:57 5 市役所 0:48 →名鉄牛山駅 休日 10:50- 15:54 3 勝川駅 平日 7:15- 17:22 5 1:00 →春日井市民病院 休日 9:35- 17:22 4 南部線 各約 15 km 平日 8:28- 18:21 5 春日井市民病院 0:55 →勝山駅 休日 10:45- 16:16 3



図表 17:駅のバリアフリー化等の整備状況

	駅名		JR				名鉄	
		趴 位	高蔵寺駅	神領駅	春日井駅	勝川駅	味美駅	春日井駅
	日利用者数(H30) (単位:人/日)		40,912	27,268	31,638	35,484	4,917	3,068
ED.	改札		地上	橋上	橋上	橋上	橋上	地上
駅構造		ホーム	橋上	地上	地上	橋上	地上	地上
Æ		跨線橋	×	×	×	×	0	0
バ	自動昇降施設	エレベーター	0	0	0	0	×	×
リア		エスカレーター	0	〇 (上りのみ)	0	0	×	×
フリ		チェアメイト	_	_	ı	-	0	0
化	トイレ	普通トイレ	0	0	0	0	0	×
が状況		バリアフリー対応	0	0	0	0	×	×
沅	視覚障害者誘導ブロック		0	0	0	0	0	0
	駅前広場		0	0	0	0	0	×

※利用者数が3,000人以上の駅が対象(移動等円滑化の促進に関する基本方針における移動等円滑化の対象駅)

資料:【日利用者数】春日井市統計書、【バリアフリーの状況】鉄道各社ホームページより(令和元年9月末時点)

図表 18: 利用促進の取り組み シティバス料金割引と記念品プレゼントの実施

●目的:夏休み期間に普段バスを利用しない人への公共交通の啓発活動

1日乗車券の割引を行った際の利用状況等の把握

※第2回会議資料

●実施期間:令和元年7月20日~9月1日

●内容

❖割引内容:1日乗車券の100円割引

❖シティバス料金表

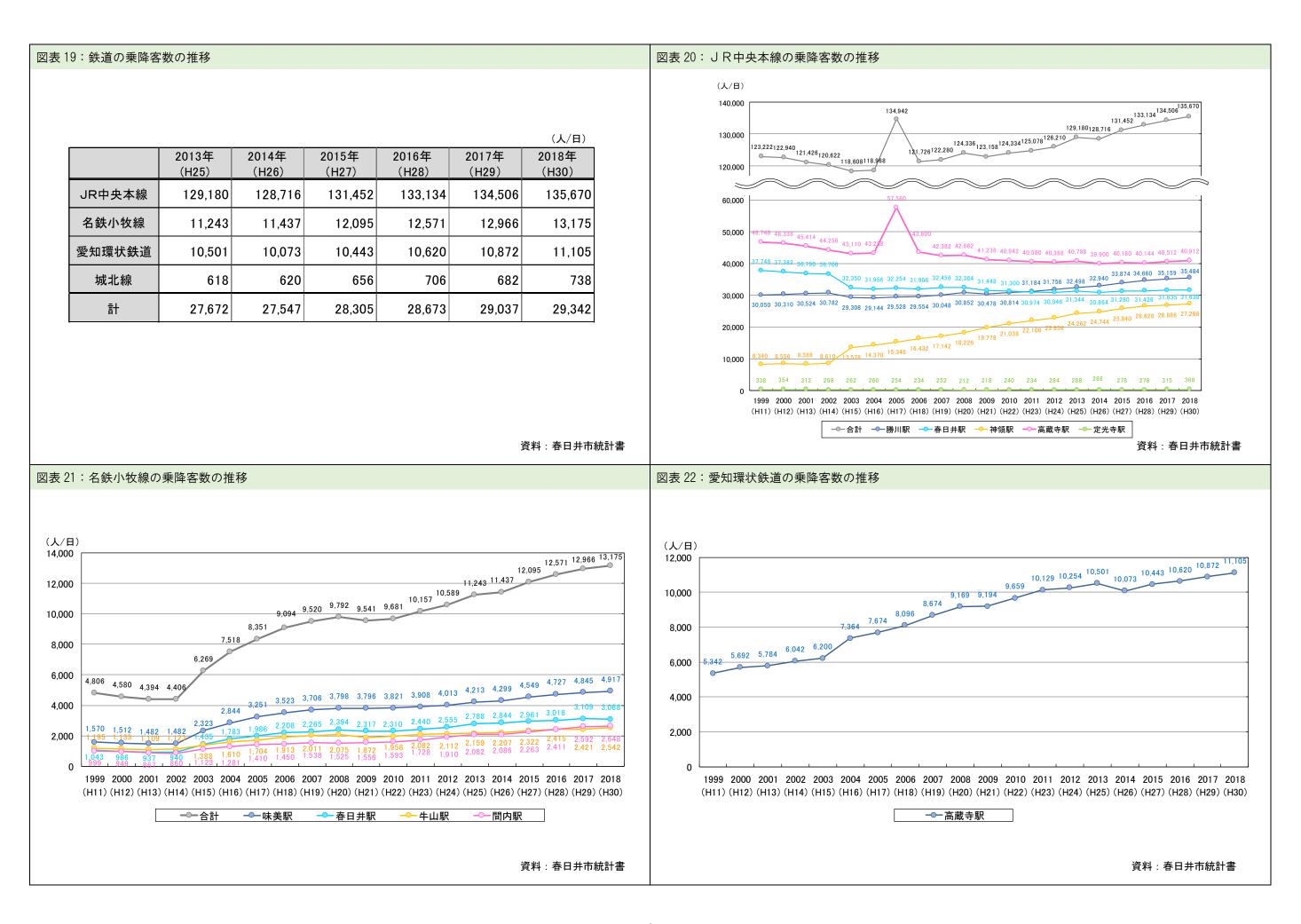
	通常	常	実証実験中		
	運賃	1日乗車券	運賃	1日乗車券	
大人	200円	500円	200円	400円	
高齢者	100円	300円	100円	200円	
運転免許自主返納者 妊婦、小人	小学生まで(小人)		中学生まで	(小人)	

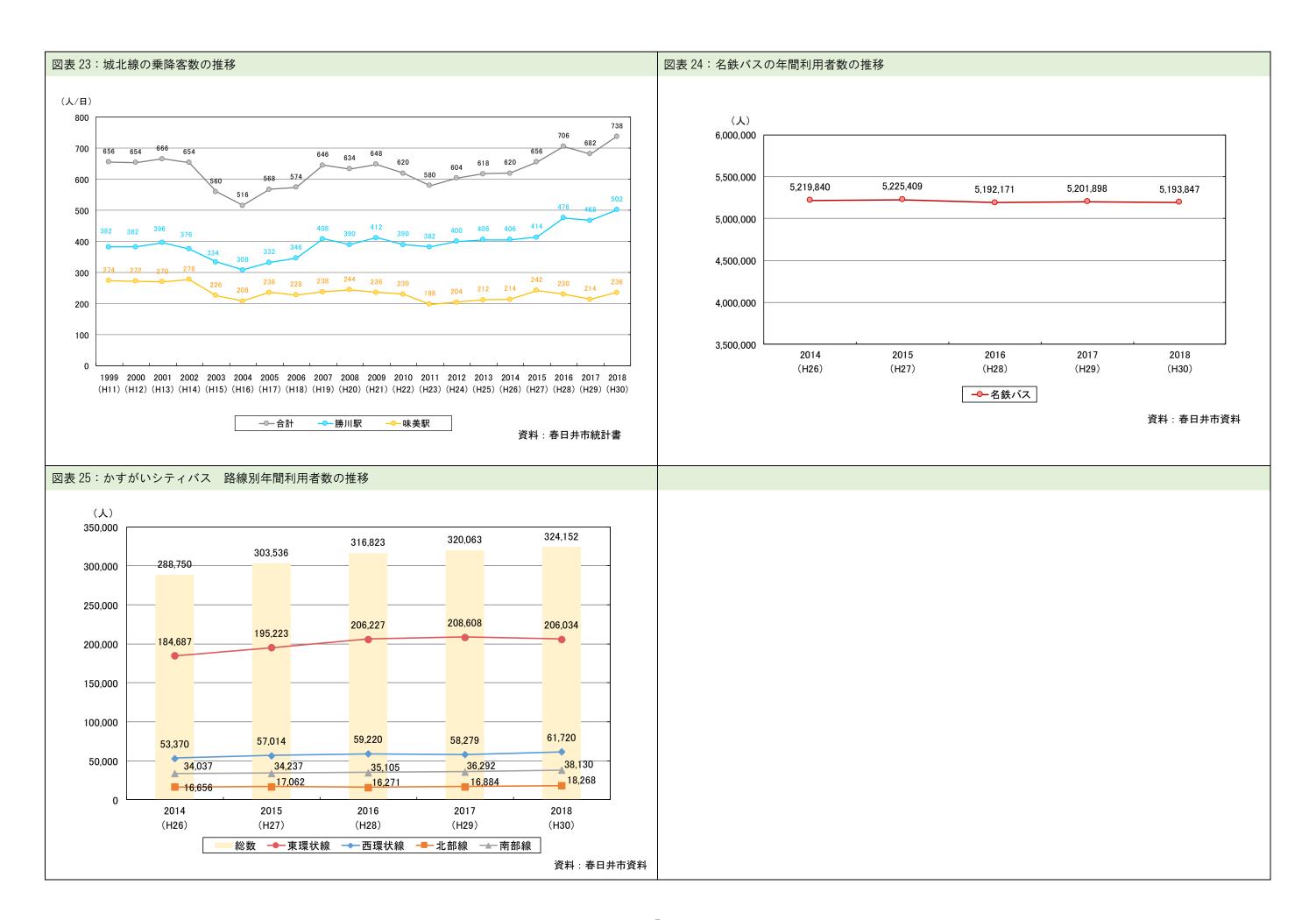
❖記念品プレゼント

小中学生を対象に「小人1日乗車券」を購入し、かすがいシティバスを利用した人先着50名に記念品をプレゼントします。

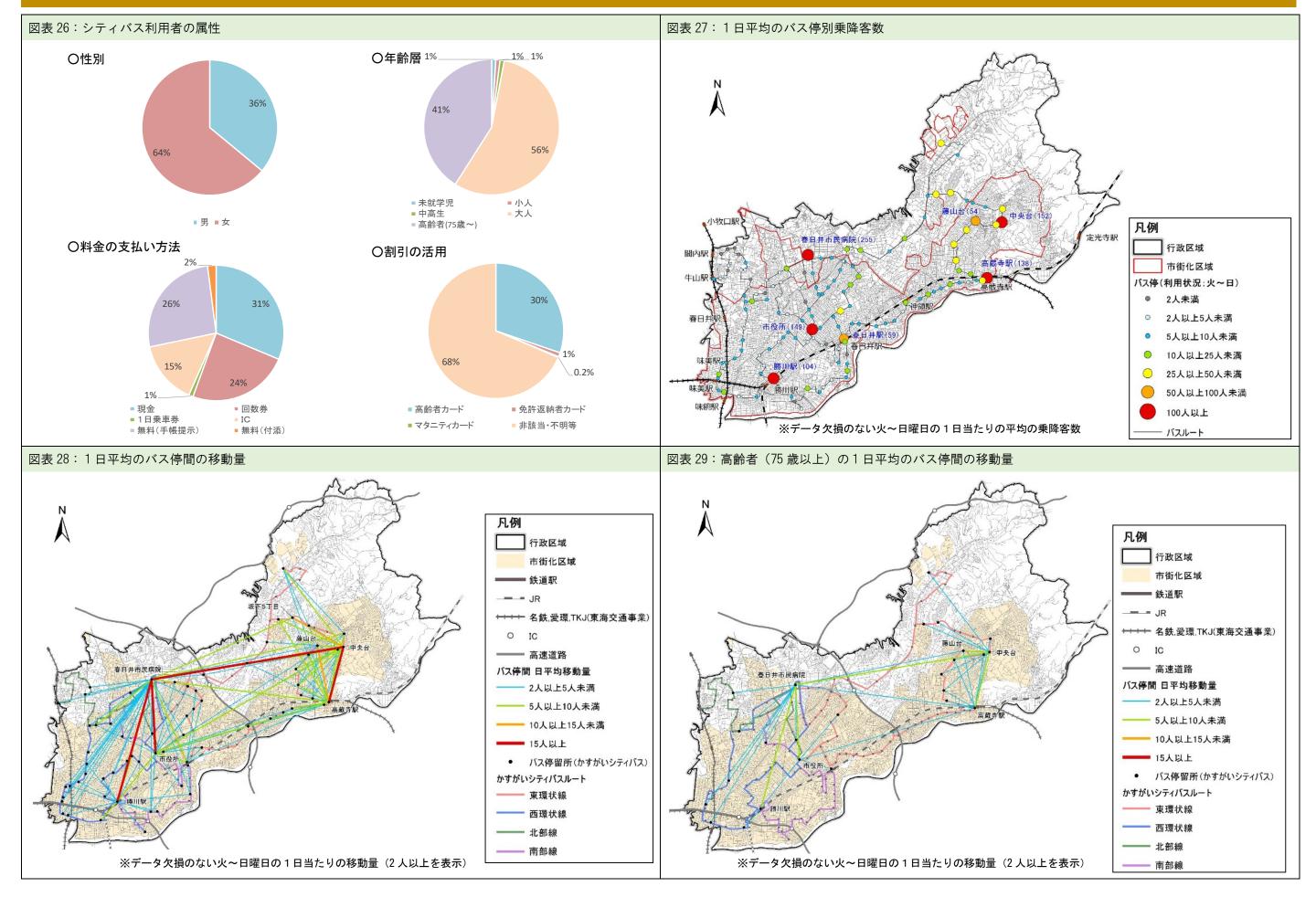


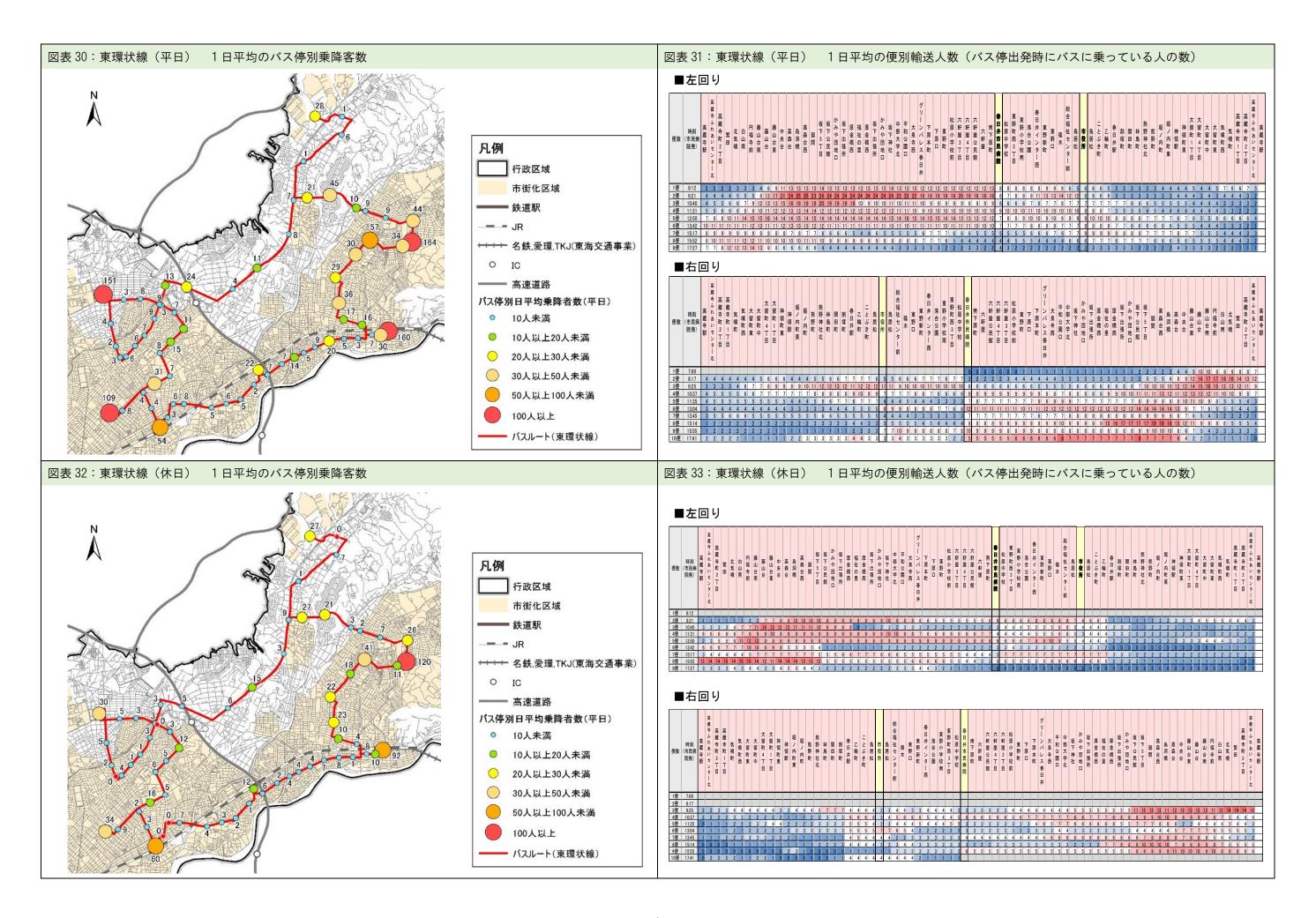


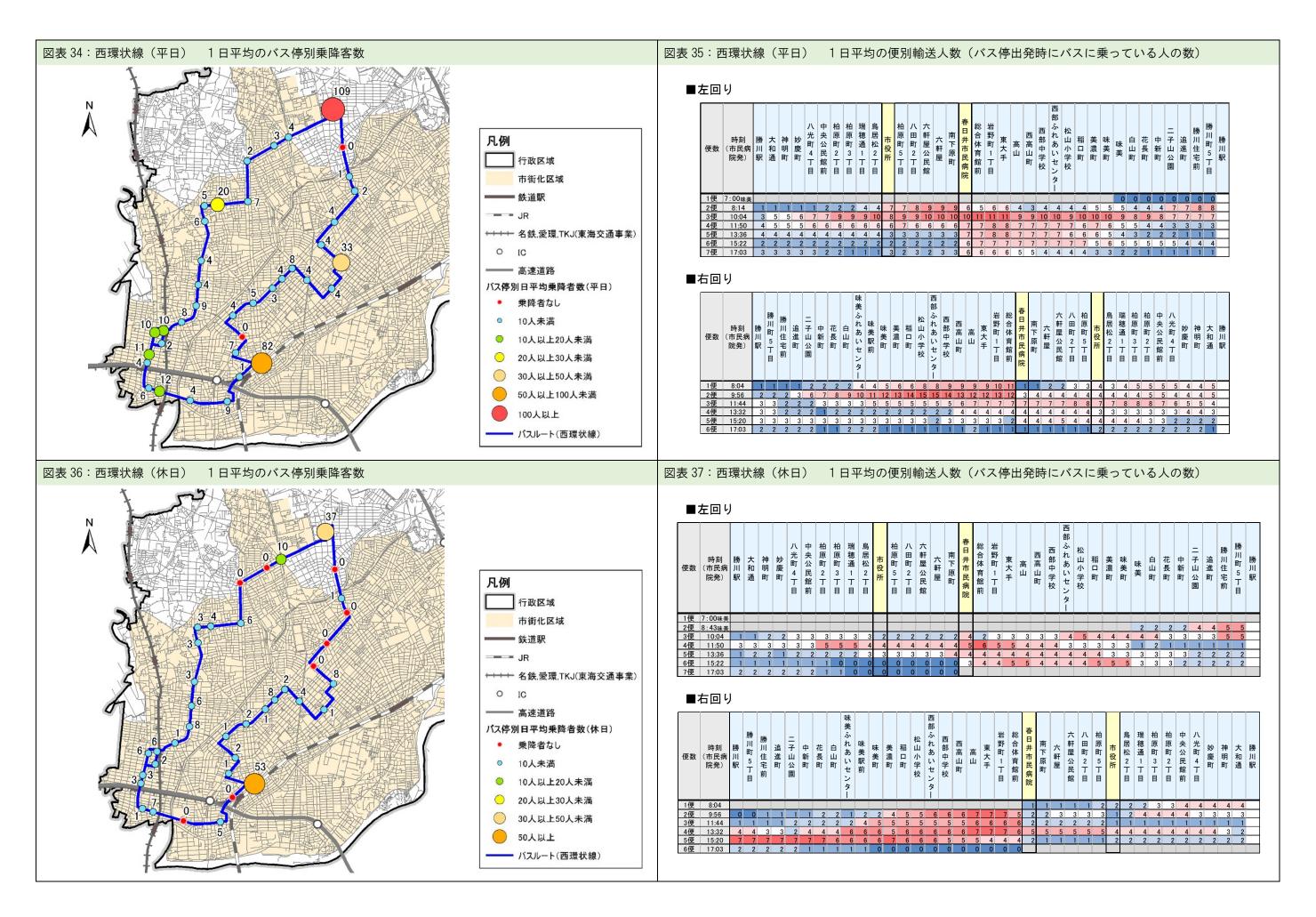


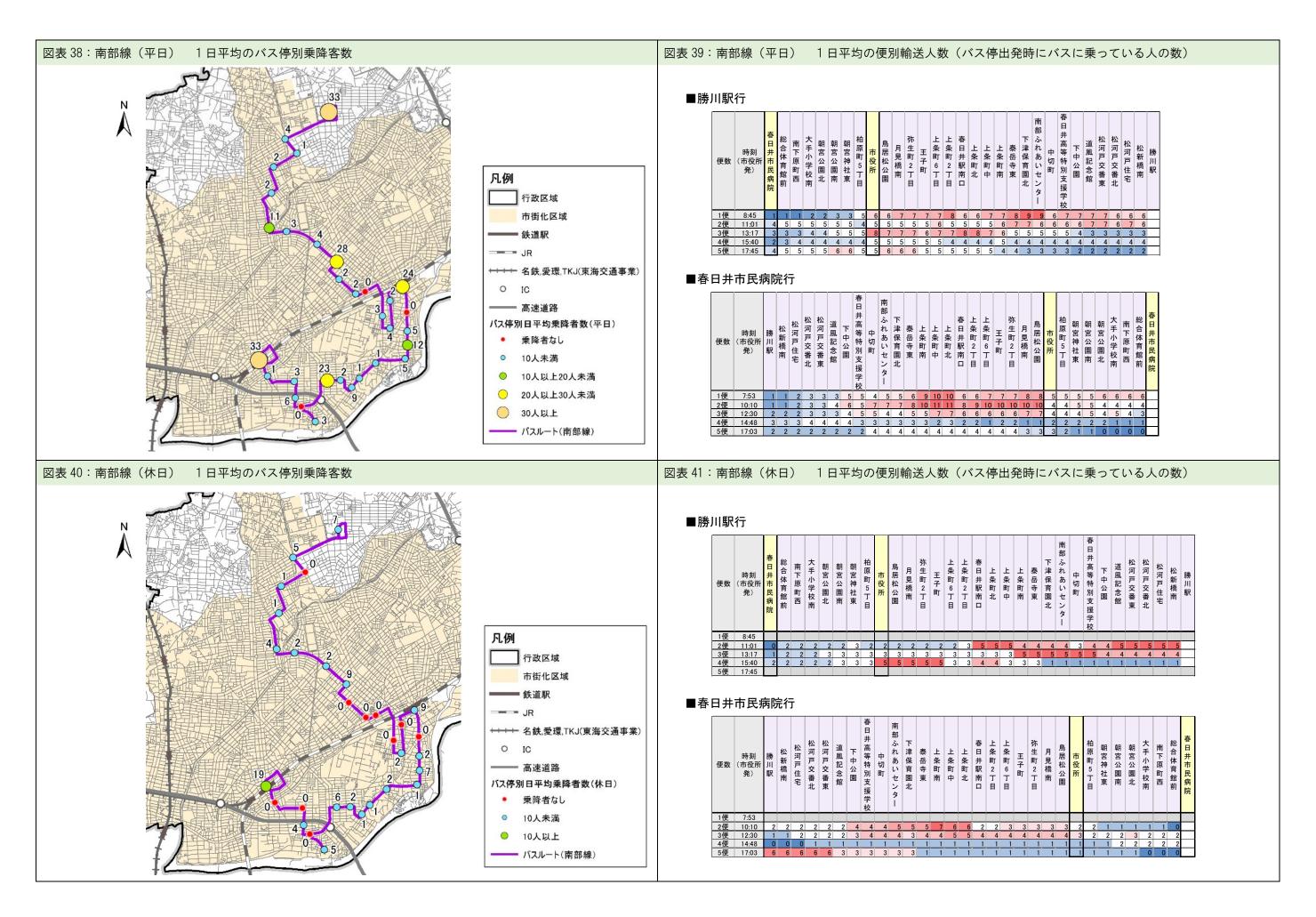


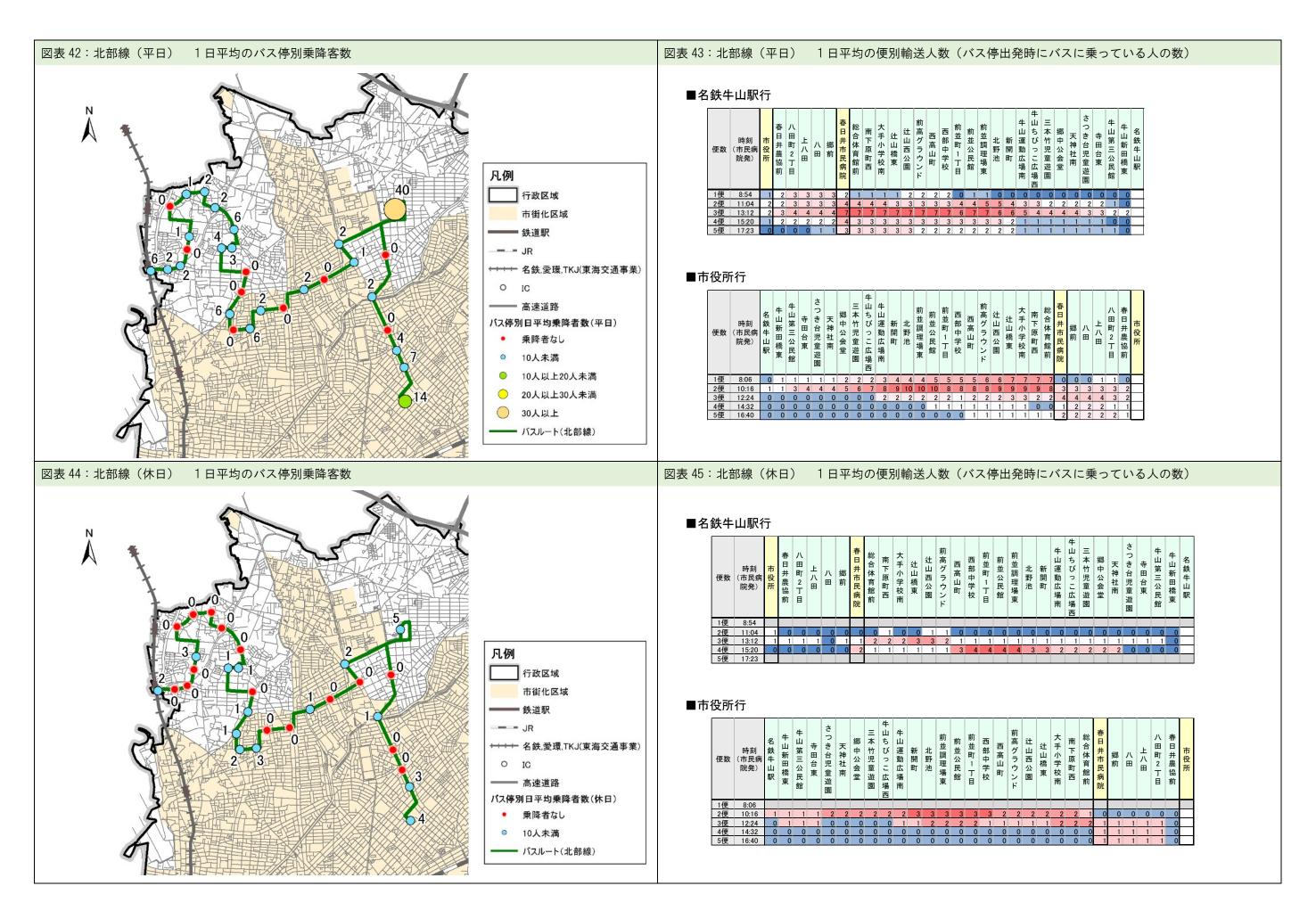
シティバスの乗降調査(平成31年3月11日(月)~17日(日))

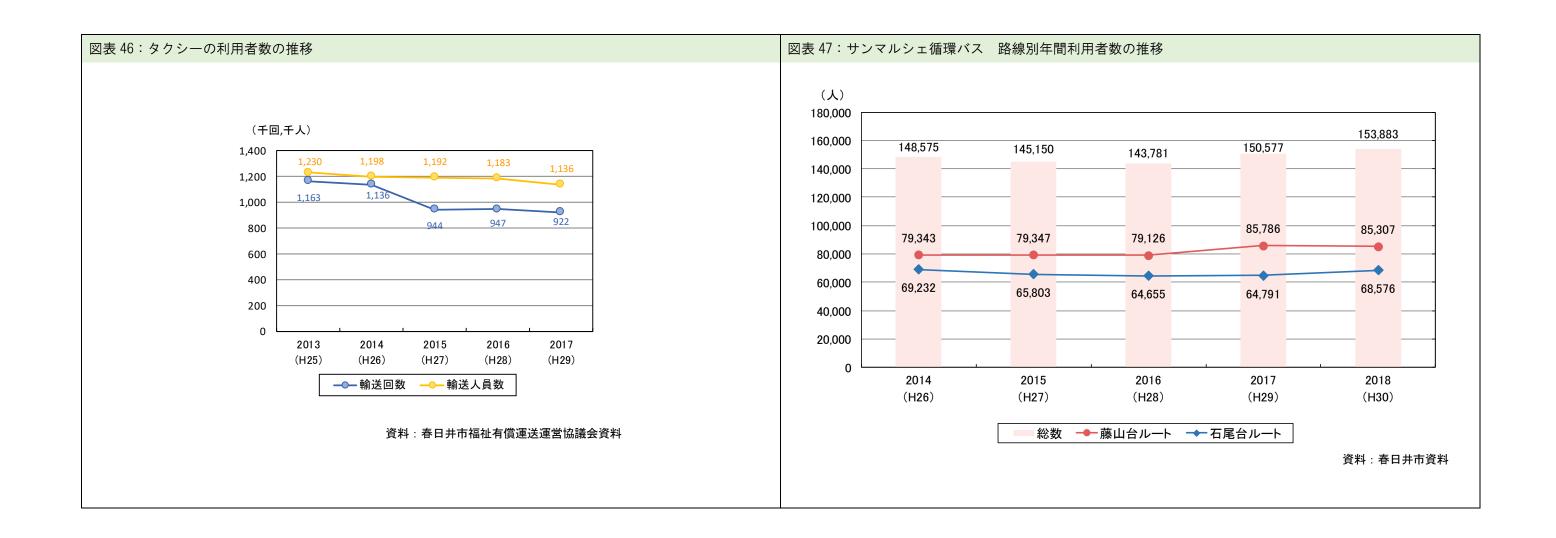












春日井市地域公共交通網形成計画の策定に係る市民意向調査の結果概要

1. 調査の概要

(1) アンケート調査

市内公共交通の利用実態やニーズ等を把握するため、平成29年10月から11月にかけてアンケート調査を実施しました。

アンケート調査は、公共交通の利用の有無別のニーズ等を把握するため、実際にシティバスを利用している人を対象とした聞き取り調査と、公共交通を利用していない人を含めた「施設利用者」や「市民」を対象とした調査を行いました。

方法	対象				
シティバス利用者	回収数:190人 東環状線:100人、西環状線:30人				
への聞き取り調査	北部線 : 30人 、 南部線 : 30人				
施設利用者調査	留め置き調査 聞き取り調査				
	施設名	設置数	回収数	施設名	回収数
	市役所	100	18	市役所	32
	市民病院	100	0	市民病院	50
	東部市民センター	100	62	アピタ高蔵寺店	20
	高蔵寺ふれあいセンター	80	5	ナフコ東野店・カーマ	20
	味美ふれあいセンター	80	4	コノミヤ中切店	20
	西部ふれあいセンター	80	12	バロー春日井西店	20
	南部ふれあいセンター	80	3	高蔵寺駅	20
	レディヤン春日井	50	4	春日井駅	20
	中央公民館	50	1	勝川駅	20
	坂下公民館	50	7	合計	222
	総合福祉センター	50	1		
	福祉の里	50	50		
	グリーンパレス春日井	50	13		
	総合体育館	50	2		
	温水プール	50	1		
	合計	1, 020	183	回収数	405 人
郵送調査 (市民)	配布数: 2,000 人 30~64 歳 500 人 (男女各 250 人)				
	満 65 歳以上 1,500 人 (男女各 750 人)				
	回収数:1,197人				

(2) 地域別懇談会

都市計画マスタープランの策定にあたり、平成 30 年 11 月から 12 月において、中学校区別に、ワークショップ形式による懇談会を行いました。各中学校区で 2 回の懇談会を実施しており、第 1 回目は「地域別の強みや弱み」について、第 2 回目は「今後の地域づくりに向けたテーマや残すべきこと変えるべきこと」について意見交換を行いました。

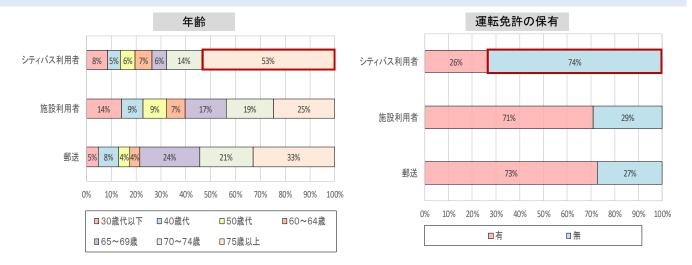
公共交通は地域づくりにあたって重要な要素の1つであり、活発に意見交換が行われ、各地域で運行する鉄道や路線バス、シティバス等の問題点(弱み)や変えるべきこと等が、具体的に抽出されています。

2. 調査の集計結果概要

(1) アンケート調査

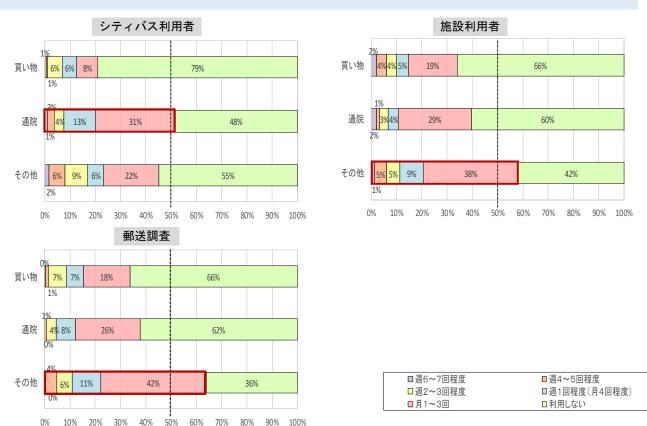
① 回答者の属性について

- ●シティバス利用者は、75歳以上の人の回答が多くなっています。また、運転免許を保有していない人が 74%と多くなっています。
- ●公共交通は、自動車を利用できない高齢者等の貴重な移動手段となっています。



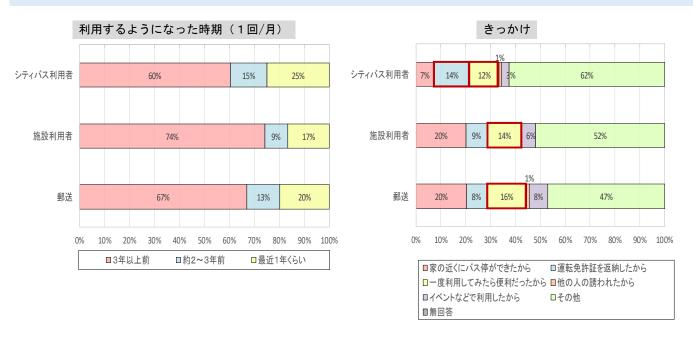
② バスの利用目的と利用頻度(シティバス利用者はシティバスのみが対象)

- ●各調査で、通院やその他の目的で、月に1~3回利用している人が多くなっています。
- ●シティバスでは、月1回以上の通院利用が過半となっており、施設利用者や郵送調査では、その他の目的で月1回以上利用する人が過半を占めています。



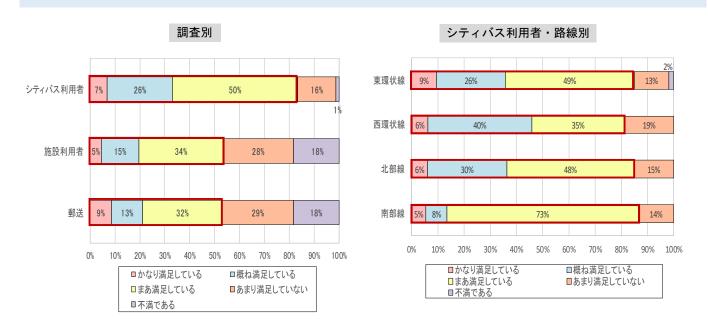
③バスを利用するようになった時期(1回/月以上)と、利用するようになったきっかけ

- ●バス利用者の多くは、3年以上前から利用している人ですが、最近1年くらいの間にバスを利用するようになった人も17~25%います。
- ●利用するようになったきっかけは、シティバスは免許返納が多くなっています。また、各調査とも、 一度利用してみたら便利だったと回答した人が多くなっています。



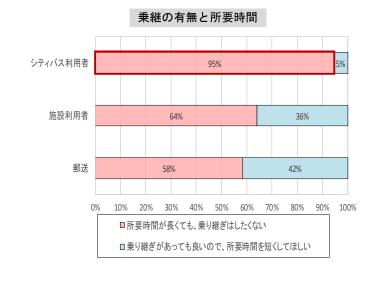
(4)バスに対する満足度(シティバス利用者はシティバスのみが対象)

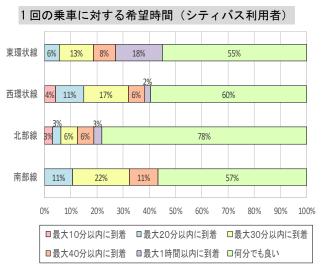
●シティバス利用者は、施設利用者や郵送調査と比較し満足している人が多くなっています。各路線とも 8割以上の人が満足しています。



⑤乗継に対する意向

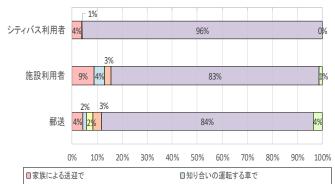
●シティバス利用者は、所要時間が長くても乗り継ぎはしたくない人が、その他の調査と比較し多くなっています。所要時間は、何分でも良いと回答した人が各路線とも、多くなっています。





⑥最寄りのバス停までの移動手段の意向

●各調査とも「徒歩もしくは自転車で」移動でき たら良いと考えている人が多くなっています。

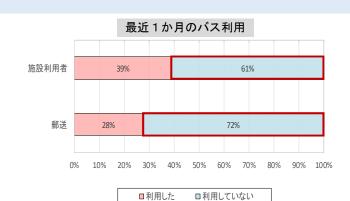


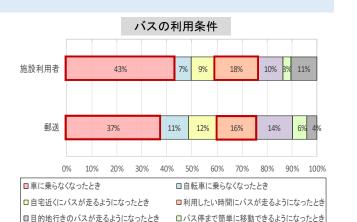
■家族による送迎で	□知り合いの運転する車で
□近隣の人たちと乗合うタクシーで	■電動カートなど、歩かずにすむ免許不要の乗り物
□徒歩もしくは自転車で	□その他

⑦路線バス・シティバスへの利用転換 (施設利用者・郵送調査)

- ●施設利用者や郵送調査対象者の過半の人が、最近1か月にバスを利用していない状況です。
- ●バスを利用条件として、各調査とも「車にのらなくなったとき」が最も多く、次いで「利用したい時間 にバスが走るようになったとき」が多くなっています。

■その他





(2) 地域別懇談会

① 地域別の意見概要

中学校区別の意見や、公共交通の整備状況や土地利用の現状等をふまえ、特性や意見が類似する各中学校区をグルーピングし、各地域の意見の概要を整理しました。

松原、鷹来:市街地と農地が広がる地域

- ・交通に不便を感じている。
- ・一部地域では<u>JRへの接続などの公共交通の改善</u>が求 められている。
- ・利用促進が求められている。

坂下:市北東部の豊かな自然が広がる地域

・<u>路線バスの利便性は確保</u>されているが、<u>高</u> <u>蔵寺駅や市民病院へのシティバスの改善</u> が求められている。



東部、中部、柏原: JR春日井駅や勝川駅に 近く、市街化区域が面的に広がる地域

・<u>シティバスの改善や新たな交通の検討</u>が望 まれている。 高森台、石尾台、藤山台、岩成台、高蔵寺: 高蔵寺ニュータウン周辺

・路線バスの便数の多さや高蔵寺駅に近い 等の強みがあるが、坂道が多い地形に起 因するバスへのアクセスが不便である。

・<u>高齢化に対応するための交通サービス</u>の 検討が望まれている

南城:神領駅周辺地域

・神領駅や市民病院へのシティバスの充実が望まれている。

② 交通手段別の意見概要

交通手段別に見ると以下の意見がありました。

交通手段	主な意見
鉄道	・ <u>駅へのアクセス利便性</u> を確保する意見があります。
	・ <u>駅を活かしたまちづくりに向けた施設等の改善</u> が求められています。
路線バス	・ <u>利便性は確保</u> され、強みと捉えている方が多くなっています。
シティバス等	・ <u>各地域で路線や運行便数の改善</u> に対する意見が多くありました。
	・ <u>市民病院へのアクセスについて、坂下や藤山台、味美といった病院から離れた地</u>
	<u>域や、南城地域からの改善意向</u> がありました。
	・坂道が多い地形条件下において高齢化が進行している <u>高蔵寺ニュータウン等で新</u>
	<u>たな交通手段の導入</u> についても意見がありました。
利用促進	・サービスの改善要望だけでなく、 <u>公共交通を使うことでサービスを支える必要が</u>
(手段全般)	<u>ある</u> と考えている方もいました。

3. 調査結果のまとめ

求められる機能

- ・路線バスやシティバスは、自動車を運転できない人にとって重要な交通手段となっています。
- ・路線バスは利便性が確保されており、本市の骨格として機能しており、市民にも認識されています。
- ・シティバスは、路線バスや鉄道を補完しながら、市民病院等への「通院」や「買い物・通勤以外」の手段として利用されています。

サービス改善

- ・シティバス利用者の多くは、「所要時間が長くても、乗り継ぎはしたくない」「1回の乗車時間は何分でも良い」と回答しており、シティバスの OD に効率的に対応した路線再編が必要です。
- ・シティバスの市民病院へのアクセスについて改善意向があり、検討が必要です。
- ・高蔵寺ニュータウン周辺をはじめ、徒歩・自転車の他、新たな手段を含めて、バス停へのアクセス環境の改善について検討が必要です。

利用促進

・シティバス利用者が、かすがいシティバスを日常的に利用するようになった「きっかけ」として、「一度利用してみたら便利だったから」が多い。また、シティバス利用者の満足度が、郵送調査や施設利用者調査より高いため、利用促進に向けて利用機会を確保しながら、公共交通を利用する意識を高めていく必要があります。

春日井市地域公共交通網形成計画の策定に係る事業者ヒアリングの結果概要

1. 調査の概要一

バスやタクシーといった民間事業者の交通サービスについて、既存の統計調査からは分からない具体的な利用特性や、交通サービスを維持する上での供給者側からの問題点等を把握するため、名鉄バス㈱、春日井市内タ クシー組合、高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱に対してヒアリング調査を行いました。

2. 調査の集計結果概要 一

調査対象者	名鉄バス(株)	春日井市内タクシー組合	高蔵寺ニュータウンセンター開発(株)
利用特性	名鉄バス㈱ 1) JR勝川駅を基点とする系統 ・市民の通勤・通学目的の利用が多い。名古屋市方面だけでなく小牧駅への利用も多い。 ・利用者数は横ばい。 2) JR春日井駅を基点とする系統 ・桃花台からの通勤・通学目的の利用や、市内からの春日井市民病院への利用が多い。 ・利用者数は横ばい。 3) JR高蔵寺駅を基点とする系統 ・高蔵寺ニュータウンの通勤・通学目的の利用や、愛知県医療療育総合センターへの通院が多い。 ・利用者は大きく減少している。	 1) JR勝川駅周辺・JR春日井駅 ・駅から市内や小牧市内の事業所への業務目的の移動 ・県営名古屋空港への移動 ・春日井市民病院や買い物移動 2) JR神領駅周辺 ・駅南口から名古屋市方面への移動(なごやサイエンスパークなど守山区内)。 ・通院は、春日井市民病院への移動もあるが、瀬戸市にある陶生病院への移動も多い。 3) JR高蔵寺駅周辺 ・瀬戸市内の穴田・暁工業団地への業務交通が多い。 	高蔵寺ニュータウンセンター開発(株) ・アピタ高蔵寺店への集客を目的として、高蔵寺ニュータウンからアピタ高蔵寺店への買い物客の移動手段として運行している。 ・主に高齢者が利用している
サービス提供上の課題	・乗務員の確保が必要である。乗務員不足により、減便せざるを えない状況になる可能性がある。 ・利用者のニーズへの対応	・インバウンド需要は、春日井市ではほとんどない。 ・乗務員の確保が必要である。 ・各種 IC カードと連携は導入費用がかかることや機器の操作が 困難である、目立った利用促進につながらない等の理由から進んでない。	・事業の効率化を検討している。
利用促進の取組み	・高齢者向けの得々パスを販売 ・小学校を対象とした交通安全教室 ・IC カード等の使い方の説明会、バスの乗車会・撮影会等	・バリアフリー対応 (UDタクシーの導入やケアマネージャーの 同乗等)	・バス通信の配布(現在は休止中)